



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3440-6100

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,026	14.4	108		108		110	
2021年3月期第3四半期	1,770	53.3	577		591		597	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 113百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 595百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	11.64	
2021年3月期第3四半期	63.24	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	1,782	315	17.7	33.38
2021年3月期	1,695	428	25.3	45.33

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 315百万円 2021年3月期 428百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	6.0	20		0		0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	9,456,500 株	2021年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,004 株	2021年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	9,455,496 株	2021年3月期3Q	9,455,496 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費や企業の経済活動が制約を受け、先行きは依然として極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売に注力いたしました。

サービス事業において、前期において客先都合により納品が当期に期ずれしていた「Incredist」の大口案件は、当上期に納品が完了し、売上計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,026百万円（前期比14.4%増）、営業損失は108百万円（前年同期は営業損失577百万円）、経常損失は108百万円（前年同期は経常損失591百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は110百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失597百万円）となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
C & S 事業 (*)	610	435	174	40.1%
サービス事業	1,258	1,189	69	5.9%
ECソリューション事業	157	146	11	7.6%
調整額	—	—	—	—
売上高	2,026	1,770	255	14.4%
C & S 事業 (*)	△3	△191	188	—
サービス事業	141	△186	327	—
ECソリューション事業	△40	6	△47	—
調整額	△205	△206	0	—
営業損益	△108	△577	469	—
経常損益	△108	△591	483	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△110	△597	487	—

(\*) C & S 事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。前期に多額のプロジェクト損失を計上した反動により赤字幅が縮小したことにより、増収増益となっております。

以上の結果、売上高は610百万円（前年同期比40.1%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失191百万円）となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズや無人精算機向けの決済ソリューションの開発及び販売、並びにマイナンバーカード関連の新サービスの開発に注力いたしました。上記に記載したとおり、当上期に「Incredist」の大型納品があったこと等により、増収増益となっております。

以上の結果、売上高は1,258百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は141百万円（前年同期は営業損失186百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。大型開発案件の開発スケジュールが遅延し、受注損失引当金を計上したため、減益となっております。

以上の結果、売上高は157百万円（前年同期比7.6%増）、営業損失は40百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ86百万円増加し、1,782百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加（431百万円増）、売掛金及び契約資産の減少（361百万円減）、商品の減少（166百万円減）、仕掛品の減少（114百万円減）及び前渡金の増加（285百万円増）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ211百万円増加し、1,478百万円となりました。主な増減要因は、契約負債の増加（380百万円増）、受注損失引当金の減少（76百万円減）及び借入金の減少（83百万円減）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ113百万円減少し、315百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（110百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2022年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	375,721	806,878
売掛金	570,695	—
売掛金及び契約資産	—	209,170
商品	305,684	139,183
原材料	38,066	80,150
仕掛品	136,855	22,264
前渡金	43,136	328,576
その他	85,563	49,386
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	1,554,723	1,634,610
固定資産		
有形固定資産	46,515	54,154
無形固定資産	11,633	11,302
投資その他の資産	82,976	82,562
固定資産合計	141,125	148,019
資産合計	1,695,849	1,782,630
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	133,600	113,788
短期借入金	227,803	26,073
1年内償還予定の社債	124,000	124,000
前受金	97,303	—
契約負債	—	478,118
受注損失引当金	98,600	22,100
製品保証引当金	—	12,500
その他	54,869	102,914
流動負債合計	736,175	879,494
固定負債		
長期借入金	240,818	359,332
社債	266,000	204,000
資産除去債務	20,691	20,691
その他	3,500	3,500
固定負債合計	531,009	587,523
負債合計	1,267,185	1,467,017
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,970,990	△2,081,088
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	428,479	318,381
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	184	△2,768
その他の包括利益累計額合計	184	△2,768
純資産合計	428,664	315,612
負債純資産合計	1,695,849	1,782,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,770,872	2,026,267
売上原価	1,855,212	1,602,783
売上総利益又は売上総損失(△)	△84,340	423,483
販売費及び一般管理費	493,241	531,571
営業損失(△)	△577,581	△108,087
営業外収益		
受取利息	6	2
為替差益	—	15,186
助成金収入	4,365	3,654
その他	2,104	424
営業外収益合計	6,476	19,268
営業外費用		
支払利息	1,609	14,657
支払手数料	14,210	4,936
その他	4,806	0
営業外費用合計	20,627	19,594
経常損失(△)	△591,732	△108,413
特別損失		
固定資産除却損	1,229	—
事務所移転費用	1,153	—
特別損失合計	2,383	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△594,115	△108,413
法人税、住民税及び事業税	2,640	1,685
法人税等調整額	1,200	—
法人税等合計	3,840	1,685
四半期純損失(△)	△597,956	△110,098
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△597,956	△110,098

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△597,956	△110,098
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,827	△2,952
その他の包括利益合計	2,827	△2,952
四半期包括利益	△595,128	△113,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△595,128	△113,051

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、工事完成基準を適用していた受注制作のソフトウェア開発については、少額または短期の契約を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示し、「流動負債」に表示していた「前受金」は、「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	435,552	1,189,197	146,122	1,770,872	-	1,770,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	435,552	1,189,197	146,122	1,770,872	-	1,770,872
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△191,958	△186,303	6,998	△371,262	△206,318	△577,581

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	610,160	1,258,841	157,265	2,026,267	-	2,026,267
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	610,160	1,258,841	157,265	2,026,267	-	2,026,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	610,160	1,258,841	157,265	2,026,267	-	2,026,267
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△3,825	141,551	△40,358	97,367	△205,454	△108,087

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。